

平成29年度 第2回ネットワーク懇談会 記録

日時 平成29年10月5日(木)14時から
場所 輝き市民サポートセンター
参加団体 8団体、8名

①ガールスカウト東京都第191団、②ドイツ平和村をサポートする会、③ふくふく④NPO法人福生と音楽を楽しむ会、⑤FHMの会、⑥西多摩百景写真展実行委員会、⑦倫理研究所家庭倫理の会「福生支部」、⑧笑いヨガクラブ「笑輝」

議題

(1) 平成29年度センターイベントについて

- ・「市民活動のひろば 輝き hands to hands2017」
- ・8月25日(金)・26日(土)・27日(日)の3日間開催。
- ・来場者数の報告：3日間合計 534人(展示310人、発表224人)

御意見等

- ・各団体の展示や発表は、自分たちの活動の参考や刺激になった。
- ・学ぶことと楽しむことの両方の要素があった。
- ・イベントは3日間でなく2日間でも良いと思う。3日間、拘束されるのが、人数が少ない団体にとってはなかなか厳しい。
- ・イベントは誰に向けて行うものなのか。→一般市民の方をはじめ、市民活動を行っている団体である。
- ・イベントの主旨を明確にした方が良いと思う。
→イベント打合せ会等で、参加する皆さんも一緒に考えていただきたい。
様々な制約もあるが、その中でどうしたら良いのか、考えていただきたい。
- ・より良いものとするには、イベント会議等を多く行い、考える機会を多く持つ必要がある。
- ・自分たちの展示や発表を成功させることが、イベントを成功させることにつながっていく。

<来場者について>

- ・来場者が少なく感じた。
- ・団体関係者以外の一般の方にも多く来てもらいたい
- ・一般の方には入口が分かりづらくて入りにくい。入りやすい工夫を。
- ・何をやっているのか中の様子が分かると良い。
- ・入口などに発表などのタイムテーブルを出す等の工夫を。
→来場者の増につながるような方法を検討していきたい。

<開催会場について>

- ・会場は、このサポートセンターとなるのか。→基本はそうである。
- ・音楽の発表を行ったが音の具合（大きさ等）はどうだったか。また、今後2階では行えないのか。→音の具合については特に問題なかった。2階は、展示施設であり、音の発表は出来ないため、4階で行ってほしい。
- ・展示と発表を同じ場所で行ってはどうか。→展示と発表が同時だと、音などで展示に集中できない方がいたり、目の不自由な方は音を頼りにしているため、同じ場所での開催は難しい。
- ・4階での発表は、発表団体と参加者との距離が近く、一体感が感じられて良かった。
- ・市役所の一部を期間限定で使用できないか。→周知を図る目的で、パネル展示を行うことは可能だと思われる。次回は、検討していきたい。

<その他>

- ・発表後は、来場者が4階のエレベーター前で溜まってしまう。→混雑具合により、状況に応じて階段の利用を勧めていきたい。

(2) 情報交換

- ・懇談会も、以前は話や意見を言っても聞くだけのことが多かったと思うが、最近は意見に対し、少しずつ対応してくれるようになったと感じる。やっとな、意見が言える雰囲気になってきたので、この懇談会を活用すべき。皆さんが意見を言うことで少しずつ変わっていくと思う。
- ・メンバーが高齢化し活動も難しくなっており、今回のイベントの参加は見送った。…活動している状況を展示するだけでも良いと思う。
- ・他団体等にこうした懇談会の席などで、事業などのお手伝いを頼んでみるのも良い。声を上げることが大切で、出来る人がいるかもしれない。
- ・何がダメ、何が出来ないのではなく、自分たちがセンターをどう使うのか、何が出来るのか、それを考え、そこからどんどん広げていく、そういう場所だと思う。
- ・KAGAYAKIの8/1号で、活動を紹介されたが、内容に誤りがあった。事前の確認を怠ったため、誤りが出てしまい、御迷惑をおかけした。今後は、事前の確認を徹底していきたい。

(3) その他

- ・次回ネットワーク懇談会：平成30年2月頃を予定。